

## 第 8 回総合計画等推進市民委員会 事前質問・意見一覧表

事前に送付した会議資料（総合戦略の概要、数値目標及びK P I 等）に対し、以下のとおり質問や意見が寄せられておりますので、回答と併せ、御報告いたします。

### I. 寄せられた質問及び意見の件数（総括表）

資料名等	質問数	意見数	掲載 ページ
1. 第 2 期八戸市まち・ひと・しごと創生総合戦略全般に関して	0	0	P. 2
2. <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">資料 1</span> 第 2 期八戸市まち・ひと・しごと創生総合戦略の概要	0	0	P. 2
3. <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">資料 2</span> 第 2 期八戸市まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標及び重要業績評価指標（K P I）	2	1	P. 2～4
計	2	1	-

（次ページ以降に具体的な質問や意見の内容を掲載）



## II. 具体的な内容

### 1. 第2期八戸市まち・ひと・しごと創生総合戦略 全般に関して

#### ●質問

質問なし

#### ●意見

意見なし

### 2. 資料1 第2期八戸市まち・ひと・しごと創生総合戦略の概要について

#### ●質問

質問なし

#### ●意見

意見なし

### 3. 資料2 第2期八戸市まち・ひと・しごと創生総合戦略の数値目標及び重要業績評価指標 (KPI) について

#### ●質問

No.	内容	
1	質問	<p>【掲載箇所】 2 ページ「八戸港水揚げ金額」</p> <p>○ 異常気象や海水温の上昇により毎年漁獲高が減少している中、R7の水揚げがR4実績の2倍となる予測は、何を基準に設定しているのか伺いたい。</p>
	回答	<p>【担当部署】 水産事務所</p> <p>➤ 数値目標につきましては、「第2期八戸市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定作業を行った令和元年度において、直近10年間（H21～30）の平均値である208億円を目標値として設定したものであります。</p> <p>➤ 実際に、当該10年間の毎年の水揚げ金額は200億円前後で推移していたことから、目標設定時点においては妥当な目標値であったと考えておりますが、その後令和に入り、大幅に水揚げが減少し、目標値と実績値の差に大きな開きが生じております。</p>

No.	内 容	
2	質問	<p>【掲載箇所】 3ページ「就職率（八戸公共職業安定所管内）」</p> <p>○ 市内（県内）への就職希望は今後増加するか、または減少するか、どのように考えているのか伺いたい。</p>
	回答	<p>【担当部署】 産業労政課</p> <p>➤ 就職率につきましては、年度における「新規求職申込件数」に対する「就職件数」割合を示したもので、八戸公共職業安定所管内の直近3年度の状況では、「新規求職申込数」は令和2年度が13,863件、令和3年度が14,021件、令和4年度が13,466件で、「就職件数」は、令和2年度が5,437件、令和3年度が5,385件、令和4年度が5,278件となっており、概ね横ばいで推移しております。</p> <p>➤ 今後の動向についての推測は難しい状況にありますが、青森労働局による「青森県の雇用失業情勢について」の報道発表資料によりますと、令和5年8月の雇用失業情勢判断として、「青森県の雇用失業情勢は、緩やかに持ち直してはいるものの、物価上昇等が雇用に与える影響に留意する必要がある。」としていることから、市内の雇用情勢について国や県の動向を注視しているところであります。</p> <p>➤ 市といたしましては、地域の次世代を担っていく高校生自らが市内の企業を調査し情報発信することを通じ、地元の事業所や八戸で働くことの良さを認識してもらうことにより、人材確保や定着を図る「高校生による地元企業魅力発見体験事業」を実施するなど、市内事業所の人材確保を支援するための取組を実施しているところであり、今後につきましても、市内の就職希望者が増加するよう、引き続き支援してまいります。</p>

●意見

No.	内容
	<p>【掲載箇所】14 ページ「合計特殊出生率」</p> <p>○ 合計特殊出生率が増える予測（R7：1.67）だが、根底には経済的支援が不可欠だと思う。</p> <p>○ 結婚であれば結婚祝金、子ども一人ずつに子育て支援金を高校まで支給する、学校給食費の無償化を今後実施していくべきだと思う。</p>
3	<p>【担当部署】子育て支援課・学校教育課</p> <p>【結婚祝金について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 婚姻数の減少について、国の調査では、若者が結婚に踏み切れない理由として、所得や雇用などの経済的な不安定さが要因と回答した割合が高い状況が見られ、将来的な経済面の不安が結婚への課題の一つであると捉えております。</li> <li>➢ 委員御提案の結婚祝金の支給は、結婚した方を祝福するとともに、結婚を希望する方への経済的支援として、若い世代の結婚を後押しする効果が期待できるものと認識しております。</li> <li>➢ 事業の実施に当たっては、結婚祝金の支給に伴う結婚支援効果や財政負担の状況について他都市の事例を参考に検討していく必要があると考えており、結婚を希望する方が希望をかなえられる支援策について、引き続き調査、検討してまいります。</li> </ul> <p>【子育て支援金について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 子育て支援金に関する手当として、現在、0歳から中学生までの子どもを養育している方を対象に児童手当を支給しております。この児童手当については、国において高校生までの対象年齢の拡充や支給金額の見直しが検討されておりますので、市といたしましては、制度拡充に向けた財源確保や支給スケジュール等の検討を進め、円滑かつ継続的な支給ができるよう対応してまいります。</li> </ul> <p>【学校給食費の無償化について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 学校給食費の無償化については、児童生徒に係る給食費負担金8.5億円に代わる財源の安定的な確保が課題であり、実現が難しいものと考えております。</li> <li>➢ 学校給食費に係る現行の経済的支援としては、経済的困窮世帯を対象として、就学援助制度等で学校給食費を無償化しております。</li> <li>➢ また、物価高騰下においては、学校給食の食材高騰分を市で負担することで、給食費の値上がり回避し、保護者負担の軽減を図っております。</li> <li>➢ 今後も、現行事業の予算確保に努め、無償化については国県の支援等の動向を注視してまいりたいと考えております。</li> </ul>
3	<p>回答</p>